

DEVELOPMENTAL DISABILITIES ADMINISTRATION (DDA)
年齢およびエビデンスタイプによる資格条件
Eligible Conditions With Age and Type of Evidence

すべての障害条件は 18 歳未満に始まり、無期限に継続することが予測され、かつ WAC 388-823 における適応機能の十分な問題となるものでなければなりません。

年齢に特化した資格条件			
条件	0 - 3	4 - 19	20 歳以上
発育遅延	X	X	
知的障害 (ID)		X	X
脳性まひ		X	X
てんかん		X	X
小児自閉症		X	X
別の神経学的または知的障害に似たその他の症状		X	X

十分な問題の有無の証明として認められた検査	
認知機能検査	適応評価
<ul style="list-style-type: none"> Stanford-Binet テスト ウェクスラー式知能検査 (WISC) 差異機能スケール (DAS) 子どものためのカウフマンアセスメントバッテリー (K-ABC) DN-CAS 認知評価システム (CAS) ウッドcock・ジョンソン認知能力検査 (WJ) レイノルズ知的評価スケール 第 2 版 (RIAS 2) <p>聞き取りに障害がある場合や、英語が第一言語でない場合、またはノンバーバルの場合、FSIQ は以下のテストの何れかを用いて評価されることがあります：</p> <ul style="list-style-type: none"> Leiter International Performance Scale-Revised (Leiter-R) ウェクスラー式知能検査 パフォーマンススケール (WISC、WAIS、WNV) ノンバーバル包括的知能検査 (C-TONI) 子どものためのカウフマンアセスメントバッテリー (K-ABC) ノンバーバルスケール指標 	<ul style="list-style-type: none"> ヴァインランド適応行動スケール (VABS) 自立行動スケール改訂版 (SIB-R) クライアント・エージェンシー計画一覧 (ICAP) 適応行動評価システム (ABAS)

診断結果、診断医、十分な問題の有無の必要な証明		
診断結果	診断医	十分な問題
発育遅延	該当なし	発育遅延
知的障害	心理学者または認定スクール心理士	適応機能評価の標準スコアが ≤ 69 、かつ心理評価がFSIQ ≤ 69 またはStanford-BinetテストIVがFSIQ ≤ 67
脳性麻痺、または四肢麻痺、片麻痺、または両麻痺を引き起こす同様の脳障害	有資格医師	3歳になるまでの発病、および以下のうち2つで直接的身体支援が必要であることの証明：トイレ、入浴、食事、着替え、移動、コミュニケーション
てんかん、発作性疾患	公認神経科医	発作が制御されていないか進行中または再発中、かつ適応機能評価の標準スコアが ≤ 69
自閉症、自閉症性障害 (DSM-IV-TR-299.00)、または自閉症スペクトラム障害 (DSM-5)	公認神経科医、公認精神科医、認定心理士、公認発達行動小児科医、自閉症センターもしくは発達センターもしくはCOEに関わる有資格医師またはARNP	5歳になるまでの発病のエビデンス、および適応機能評価の標準スコアが ≤ 69 、かつDSM-5診断についてDSM-5 FSIQ ≤ 84 （または自閉症を理由にテストを受けることのできない書面による証明）
別の神経学的または知的障害に似たその他の症状	有資格医師	適応機能評価の標準スコアが ≤ 69 、かつFSIQ ≤ 77 またはStanford-BinetテストIVがFSIQ ≤ 75 、または20歳未満の場合はBroad ReadingとBroad Mathの両方でスコアが ≤ 69 ならFSIQ検査に置き換えられる。